

厚生労働行政推進調査事業費補助金  
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)  
分担研究報告書

一般医療者ならびに一般女性のニーズにあった提供方法の開発

研究分担者 後藤 美賀子 国立成育医療研究センター・妊娠と薬情報センター  
研究協力者 藤岡 泉 国立成育医療研究センター・妊娠と薬情報センター  
研究協力者 八鍬 奈穂 国立成育医療研究センター・妊娠と薬情報センター

研究要旨

妊娠中や授乳中の女性における医薬品の安全性に関する情報を非医療者/医療者に提供する方法を整理した。動画やポスターを作成し、SNS や医療者の所属団体の情報媒体を活用して情報発信をおこなった。

A. 研究目的

妊婦・授乳婦における医薬品の安全性に関する正しい情報について、情報提供の対象者ごとに異なる方法でアプローチすることを目的とした。

B. 研究方法

一般国民や医療者（医師・薬剤師・歯科医師）と対象ごとに資材作成や SNS を活用した。

C. 研究結果・D 考察

一般国民への情報提供は、若年教育として動画「考えてみよう！月経・妊娠とくすり」を作成し国立成育医療研究センターの YouTube チャンネルにて公開した。令和 5 年 4 月 20 日現在 1637 回再生されている。薬剤師向けにはポスター（妊娠とくすりの豆知識）を作成し、日本薬剤師会都道府県支部に送付した。さらに妊娠と薬情報センターのホームページ

([https://www.ncchd.go.jp/kusuri/news/kusurikenkyu\\_edu.html](https://www.ncchd.go.jp/kusuri/news/kusurikenkyu_edu.html))や公益社団法人日

本薬剤師会のホームページ

(<https://www.nichiyaku.or.jp/pr-activity/document/medicine.html>) に掲載しダウンロード可能とした。歯科医師向けには、妊娠中の歯科治療薬の使用に関するポスターを作成し、妊娠と薬情報センターのホームページよりダウンロード可能とした。さらに日本歯科医師会雑誌（2023 vol.75 No12）に「日本小児歯科学会と産婦人科医師、薬剤師との連携による妊娠中の医薬品使用の情報提供」の記事を掲載するに至った。医師向けには妊娠と薬の基本的知識に関する動画を作成し、総合診療医育成のビデオオンデマンドサイトに引き続き掲載している

(<https://shimanegp.com/1076/>)。

令和 5 年 5 月 9 日、ママ向けの一般情報提供アプリ「ママリ」に妊娠中、授乳中に直面しやすい薬の使用に対する不安を題材に妊娠と薬情報センターを紹介するマンガを公開した。

妊娠 <https://mamari.jp/40655>

授乳 <https://mamari.jp/40656>

近年の20-30代の女性においては、活字よりも動画やマンガ媒体での閲覧数が増加している。上記の啓発資材が妊娠と薬情報センター等の専門機関への相談を必要とする女性に広く認知されるきっかけとなることが期待される。資材の活用数（PV数）については追跡し今後の啓発活動に活用する予定である。

#### **E. 結論**

動画やポスターの作成、SNSの活用等、様々な情報媒体を活用して情報発信をおこなった。

#### **F. 健康危険情報**

総括報告書に記載

#### **G. 研究発表**

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

#### **H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）**

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし